

# 目 次

はしがき

## 第1章 関係節における発話行為

.....	遠藤 喜雄	1
0. はじめに		1
1. 背景		1
2. 理論言語学における論点		6
3. まとめと今後の課題		12

## 第2章 日本語の統語構造：相関等位節から見た階層

.....	岸本 秀樹	15
1. はじめに		15
2. 日本語の節構造と相関接続詞節の等位節としての特徴		17
3. 「か」が時制辞の右側に現れる相関等位節		19
4. 等位節での省略		24
5. 主要部移動		29
6. 主語の位置と部分削除		36
7. まとめ		41

## 第3章 多重分裂文と束縛の移動分析

.....	高野 祐二	45
1. はじめに		45
2. 日本語の多重分裂文と束縛の移動分析		47
3. 多重分裂文の分析		52
4. まとめ		67

## 第4章 日本語の副詞・副詞節の階層構造と語順

.....	野田 尚史	69
1. この論文の目的		69
2. 副詞・副詞節の語順とは		70
3. 副詞の階層構造		72
4. 副詞と副詞節の語順		75
5. 副詞と格成分の語順		79
6. 副詞節の階層構造		82
7. 副詞節と副詞節の語順		84
8. 副詞節と格成分の語順		89
9. 副詞と副詞節の語順		92
10. 主文の述語を修飾しない副詞・副詞節の語順		95
11. まとめと今後の課題		98

## 第5章 複合動詞における助動詞化と無他動性

.....	西山國雄・小川芳樹	103
1. はじめに		103
2. 複合動詞の分類		104
2.1. 国語学の知見と理論言語学		104
2.2. 無他動性による複合動詞の分類		107
3. 主要部—主要部型の複合動詞と無他動性		109
3.1. 複合化の帰結としての無他動性：複合・無他動性の一般化		109
3.2. 複合・無他動性の一般化の説明		111
3.3. 目的語共有と疑似他動性		112
4. 補部—主要部型の複合動詞における助動詞化		115
4.1. 時と移動の複合語における助動詞化		115
4.2. 助動詞化，文法化，再構築		119
5. 主要部—主要部型の複合動詞における助動詞化と無他動性		120
5.1. 副詞的複合語の後項の助動詞化		120
5.2. 様々な特徴を持つ後項		123
5.3. 後項の文法化		124
5.4. 「語彙的」補文構造		126
6. 結語		128

## 第6章 モダリティ的表現をめぐる

.....	仁田 義雄	135
1. はじめに		135
2. 文への暫定的な捉え方		135
3. 文の基本的な意味-統語構造—命題とモダリティ—		137
4. 発話・伝達のモダリティの優位性		142
4.1. 発話・伝達のモダリティの必須性		142
4.2. 文成立における発話・伝達のモダリティの優位性		147
5. モダリティの様々		148
5.1. 発話・伝達のモダリティ		148
5.2. 事態めあてのモダリティ		150
5.2.1. 働きかけと情意系の場合		151
5.2.2. 認識のモダリティ		152
5.2.3. 当為評価のモダリティ		153
5.3. 客体的モダリティ		154
6. モダリティ形式のタ形		157
7. モダリティの意味の変容化・希薄化への環境		160
8. 終わりに		162

第7章 日本語における Derivational Feature-based  
Relativized Minimality

.....	前田 雅子	163
1. 序		163
2. 提案		166
2.1. 階層化された CP/vP 構造		166
2.2. Derivational Feature-based Relativized Minimality		167
2.3. 移動特性		168
3. Linear Crossing Constraint の統語分析		170
4. wh 句と焦点要素 DP- <i>koso</i> /DP- <i>sae</i> 間の介在効果		174
5. 結論		179

## 第8章 名詞修飾節と文の意味階層構造

.....	益岡 隆志	185
1. はじめに		185
2. 文の意味階層構造		186
2.1. 南不二男の研究		186
2.2. 私見の概要		187
3. 意味階層構造と副詞節		189
3.1. 南の分析		189
3.2. 条件節と接続形式の分化		189
4. 意味階層構造と名詞修飾節		190
4.1. 名詞修飾節の基本型と特殊型		190
4.2. 内容節と意味階層構造		192
5. 名詞修飾節の特殊型		194
5.1. 引用系接続形式の分化		194
5.2. トイウ内容節と意味階層		195
6. おわりに		197

## 第9章 日本語の意志のモダリティ・再論

.....	森山 卓郎	201
1. はじめに：意志決定の三段階説		201
2. 暫定的意志決定の「スル形+か」と意志形		204
3. 意志形+か		208
4. 意志形における未決定性		209
5. 意志形における聞き手の判断参画		211
6. 終止形（スル形）と「つもりだ」		213
7. おわりに：意志決定の5段階		214

## 第10章 日本語における形容詞活用語尾の本質について

.....	山木戸 浩子	219
1. はじめに		219
2. 形容詞連体形活用語尾の類型論的分析		221
3. 形容詞連体形活用語尾の分析 (I): テンス/コピュラ		226
3.1. 証拠その1 (交わり解釈の可能性から)		229
3.2. 証拠その2 (日本語方言における屈折接辞「-い」と「-な」		

の分布から)	233
3.3. 形容詞・名詞的形容詞連体形の再分析	237
4. 形容詞連体形活用語尾の分析 (II): 格	241
4.1. 形容詞と格	242
4.2. 属格と叙述の格	244
5. 格標示仮説の拡張	248
5.1. 名詞的形容詞の活用語尾「-に」	249
5.2. 形容詞の活用語尾「-く」	250
5.3. まとめ	252
6. 終わりに	253

執筆者紹介 .....	257
-------------	-----